



だいまん よしかず
大門 嘉和〔清鯖会〕



レッサーパンダの環境改善のためのクラウドファンディング

問 今回のプロジェクト「レッサーパンダによりよい環境を！快適に健康的に過ごしてほしい！」は、当初の目標金額300万円に対し現在の寄附総額はどの程度か。

答 現在950万円余が集まっている。

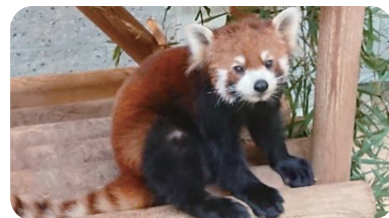
問 今回のプロジェクトの予測以上の反響をどう分析しているのか。

答 市の認知度が向上したこと、西山動物園のHPや毎日更新しているSNSなどを使った情報発信等を行ったこと、推しパン総選挙や国際レッサーパンダデーでの説明・解説など

の企画を行い県内外から多くのメッセージを頂いたことなどが奏功したのではないかと考えている。

問 どのような環境整備をするのか。

答 本来レッサーパンダは寒さの厳しい高地に生息しており暑さに弱い動物である。しかし、近年の異常気象により暑さ対策が必要な状態となっている。そのため、気化熱を利用して気温を下げるミスト発生機器のレッサーパンダのいえ屋外展示場への設置や、屋内展示場に設置してある空調機器の改良など、暑さ対策に使用したいと考えている。また、屋内展示場の床材の入替え等も行いたい。



夏場の暑さ対策が必要なレッサーパンダ



かえりやま あきお
帰山 明朗〔無所属の会〕



さばえ街づくり協議会について

問 1月23日に発足した「さばえ街づくり協議会」とは。

答 中心市街地エリアのにぎわい創出実現を目指して、鯖江地区商店街連合会、鯖江おかみさん会が中心となり、市、鯖江商工会議所、鯖江観光協会が伴走役として委員に加わる地元主導の協議会組織である。中心市街地を取り巻く現状を分析し、将来像を描きながら、県の補助事業期間の令和7～8年度の2か年の事業について計画策定を進めている。今年4月以降の早い時期に策定を終える予定で、計画に基づく事業については、計画策定後、速やかに実行に移していくことになる。

鯖江駅周辺の取組について

問 鯖江駅周辺整備計画策定のスケジュールは。

答 市長 今年度実施したアンケート調査や人流調査の調査結果、また、今年6月頃に予定している駅周辺の交通社会実験の検証結果を踏まえ、鯖江駅周辺の利便性の向上や鯖江駅を中心としたにぎわいの創出につながるよう鯖江駅周辺の整備計画策定に取り組んでいく。来年の3月議会で方向性を示す予定でいる。



イベント開催によってにぎわう鯖江駅前



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹〔さばえ結の会〕



越前漆器産地の振興策について

問 新年度予算の中で新規事業として越前漆器「継ぐ×創る」プロジェクト、越前漆器プロモーション事業とあるが、どのような取組を考えているのか。

答 市長 商品開発やPRを単発で終わらせるのではなく、販路拡大や後継者育成につなげていくような相乗効果を狙い、越前漆器を前面に押し出したプロモーションを部局横断しながら実施していきたいと考えている。これまで漆器のターゲットとして非常に薄い層であった若年層、いわゆるZ世代と言われるような世代に対して、東京ガールズコレクションの場でインフルエンサーの皆さんに御協力をいただき、産地のPRや漆器の魅力を発信する企画を検討してい

る。また、海外の富裕層をターゲットとして、9月に東京の有明コロシアムで開催されるジャパンオープンテニスにおいて、VIPクラスの富裕層が出入りするラウンジの日本文化を紹介するコーナーで、山車などの展示、実演、体験、販売などを行う。漆は海外ではジャパンと呼ばれるもので、漆の魅力を伝えて販売につなげていきたいと考えている。



1500年の歴史と伝統を有する
越前漆器